

平成20年度ダイオキシン類濃度常時監視結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき、高知県、高知市、国土交通省及び独立行政法人水資源機構が平成20年度に実施した大気、公共用水域水質・底質、地下水質及び土壌のダイオキシン類調査結果の概要は次のとおりです。

1 調査地点数、測定機関及び調査回数

調査は、表1-1に示すとおり、大気11地点、水質17地点、底質16地点、地下水質2地点、土壌2地点の計48地点で実施しました。

表1-1 調査地点数、測定機関及び調査回数

媒体	区分	調査地点数(検体数)					調査回数
		県	高知市	国土交通省	水資源機構	計	
大気	モニタリング調査	4(6)	7(8)			11(14)	年1~2回
水質	河川	7(7)	4(4)	3(3)		14(14)	年1回
	湖沼				1(1)	1(1)	
	海域		2(2)			2(2)	
	計	7(7)	6(6)	3(3)	1(1)	17(17)	—
底質	河川	7(7)	3(3)	3(3)		13(13)	年1回
	湖沼				1(1)	1(1)	
	海域		2(2)			2(2)	
	計	7(7)	5(5)	3(3)	1(1)	16(16)	—
地下水質	—	1(1)	1(1)			2(2)	年1回
土壌	一般環境	1(1)	1(1)			2(2)	年1回
計	—	20(22)	20(21)	6(6)	2(2)	48(51)	—

2 調査方法

調査は、平成11年環境庁告示第68号の別表に定める方法のほか、表1-2の測定方法に基づき実施しました。

表1-2 ダイオキシン類の測定方法

媒体	測定方法
大気	ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省平成20年3月)
水質	日本工業規格K0312
底質	ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル(環境省平成20年3月)
地下水	日本工業規格K0312
土壌	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル(環境省平成20年3月)

3 調査結果の概要

(1) 大 気

ダイオキシン類濃度は、0.010 ～ 0.14 pg-TEQ/m³（平均値 0.029 pg-TEQ/m³）であり、全ての調査地点で環境基準(0.6 pg-TEQ/m³)を達成していました。

なお、平成 20 年度の全国調査結果（721 地点）は、0.0032 ～ 0.26 pg-TEQ/m³（平均値 0.036 pg-TEQ/m³）で、全ての地点で環境基準を達成していました。

(2) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.062 ～ 0.44 pg-TEQ/L（平均値 0.13 pg-TEQ/L）であり、全ての調査地点で環境基準(1 pg-TEQ/L)を達成していました。

なお、平成 20 年度の全国調査結果（1,714 地点）は、0.013 ～ 3.0 pg-TEQ/L（平均値 0.20 pg-TEQ/L）で、河川 28 地点で環境基準を超過しました。

(3) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.21 ～ 47 pg-TEQ/g（平均値 5.3 pg-TEQ/g）であり、全ての調査地点で環境基準(150pg-TEQ/g)を達成していました。

なお、平成 20 年度の全国調査結果（1,398 地点）は、0.067 ～ 540pg-TEQ/g（平均値 7.2pg-TEQ/g）で、河川 6 地点で環境基準を超過しました。

(4) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、0.062 ～ 0.062 pg-TEQ/L（平均値 0.062 pg-TEQ/L）であり、全ての調査地点で環境基準(1 pg-TEQ/L)を達成していました。

なお、平成 20 年度の全国調査結果（634 地点）は、0.010 ～ 0.38 pg-TEQ/L（平均値 0.048 pg-TEQ/L）で、全ての地点で環境基準を達成していました。

(5) 土 壌

ダイオキシン類濃度は、0.067 ～ 1.3 pg-TEQ/g（平均値 0.68 pg-TEQ/g）であり、全ての調査地点で環境基準(1,000 pg-TEQ/g)を達成していました。

なお、平成 20 年度の全国調査結果（1,073 地点）は、0.0 ～ 190 pg-TEQ/g（平均値 3.1 pg-TEQ/g）で、全ての地点で環境基準を達成していました。

* 調査地点ごとの結果は別表 1～4 のとおりです。

表 1-3 平成20年度ダイオキシン類常時監視結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			環境基準超過地点数	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
大気	モニタリング調査	11	0.010	0.14	0.029	0	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水質	河川	14	0.062	0.44	0.14	0	1pg-TEQ/L以下
	湖沼	1	0.067	0.067	0.067		
	海域	2	0.066	0.077	0.072		
	計	17	0.062	0.44	0.13		
底質	河川	13	0.21	47	5.8	0	150pg-TEQ/g以下
	湖沼	1	0.66	0.66	0.66		
	海域	2	0.22	9.9	5.1		
	計	16	0.21	47	5.3		
地下水質	—	2	0.062	0.062	0.062	0	1 pg-TEQ/L以下
土壌	一般環境	2	0.067	1.3	0.68	0	1,000pg-TEQ/g以下

4 今後の対応

平成21年度においても引き続き調査を行います。

*ダイオキシン類濃度の単位について：

例えば、大気における環境基準値 0.6 pg-TEQ/m³ とは、0.6 「ピコグラム ティーイーキューパー立方メートル」と読み、大気1立方メートル中にダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD（四塩化ジベンゾーパラジオキシン）に相当する毒性のダイオキシン類が1兆分の0.6グラム含まれていることを意味しています。

別表 1-1 平成20年度ダイオキシン類測定結果（大気）

単位：pg-TEQ/m³

区分	調査場所		調査日	濃度		測定機関
				測定値	年平均値	
一般環境	安芸福祉保健所	安芸市矢ノ丸	10/ 9～10/16	0.0074	0.012	県 高知市
			1/ 8 ～ 1/15	0.016		
	伊野合同庁舎	吾川郡いの町	10/ 9～10/16	0.0079	0.010	
			1/ 8 ～ 1/15	0.013		
	須崎福祉保健所	須崎市東古市町	1/ 8 ～ 1/15	0.014	0.014	
	幡多福祉保健所	四万十市中村山手通	1/ 8 ～ 1/15	0.011	0.011	
	東部環境センター	高知市介良丙	7/29 ～ 8/ 5	0.013	0.027	
			12/18～12/25	0.040		
	米田古川ポンプ場	高知市朝倉丙	12/18～12/25	0.020	0.020	
	初月ポンプ場	高知市中久万	12/18～12/25	0.015	0.015	
	薊野ポンプ場	高知市薊野	12/18～12/25	0.025	0.025	
	仁井田ポンプ場	高知市仁井田	12/18～12/25	0.022	0.022	
長浜原ポンプ場	高知市長浜	12/18～12/25	0.14	0.14		
沿道	東城山町局	高知市東城山町	12/18～12/25	0.019	0.019	

別表 1-2 平成20年度ダイオキシン類測定結果（公共用水域水質・底質）

単位：pg-TEQ/L

区分	水域名	地点名	調査日	濃度		測定機関	
				水質	底質		
河川	伊尾木川	観音橋	11/18	0.062	0.21	県	
	仁淀川	名越屋橋	11/26	0.066	0.23		
	波介川上流	波介川橋	11/26	0.44	12		
	押岡川	押岡橋	11/17	0.080	3.9		
	香宗川	赤岡橋	11/25	0.32	1.1		
	伊与野川	日の下橋	11/27	0.063	0.98		
	日下川	国岡橋	11/26	0.11	0.29		
	久万川下流	比島橋	8/19	0.074	1.7		高知市
	江ノ口川	廿代橋	8/19	0.10	47		
	鏡川下流	潮江橋	8/19	0.065	-		
	舟入川下流	新木橋	8/19	0.25	6.7		
	物部川下流	深淵	10/14	0.081	0.23	国土交通省	
	仁淀川	中島水位観測所	10/14	0.17	0.25		
		四万十川	具同	10/14	0.092	0.22	
湖沼	早明浦ダム貯水池	貯水池基準点	10/14	0.067	0.66	水資源機構	
海域	浦戸湾（高知港（乙））	st-106	8/22	0.077	9.9	高知市	
	浦戸湾（高知港（甲））	st-114	8/22	0.066	0.22		

別表 1 - 3 平成 20 年度ダイオキシン類測定結果 (地下水質)

単位 : pg-TEQ/L

市町村	所在地	調査日	濃度	測定機関
香南市	野市町父養寺	11/26	0.062	県
高知市	布師田	8/22	0.062	高知市

別表 1 - 4 平成 20 年度ダイオキシン類測定結果 (土壌)

単位 : pg-TEQ/g

市町村	所在地	調査区分	調査日	濃度	測定機関
香南市	野市町深渕	一般環境	11/25	0.067	県
高知市	稲荷町	一般環境	8/22	1.3	高知市